▶ グループ活動部門

▶ まちづくり全般

ふじさわこども まちづくり会議

▶ 具体的な内容

この活動は 1998 年の第 1 回大庭地区から始まり、毎年 1 回（第 12 回・13 回は同年春秋 2 回）秋の週末 2 日間 13 地区を変えて開催し、昨年第19 回を開催しました。
今年は記念すべき第20 回の鵠沼地区にて 11 月 19・20 日に開催します。
参加者は、藤沢市内在住の小学生約 40 名が対象です。スタッフは、コアの社会人約 20 名に、学生 (中学・高校・大学・大学院) 約 30 名からなります。
　一日目にこどもたちがスタッフとともに開催地区を散策して**「現在」**を知り、地域を熟知する方にそのまちの歴史について講義して頂き、その資料を通じて**「過去」**を学びます。その上で、こどもたちが自分のお父さん、お母さんの年齢になった時、そのまちがどんなまちに変わっていたら良いかを話し合い一つの結論を決定します。
その決定に従った**「未来」**のまちを、１日目後半から２日目に掛けて畳 3 帖大の都市計画模型 (1/500) を制作します。

▶ 実績

楽しいことはいつまでも記憶に留まる。
回数を重ねるごとに複数回参加のこどもたちが、率先してより地域の未来を考えた提案が議論されます。なかでも低学年のこどもの方が感性溢れるアイデアも多く、先輩たちを論破していく姿にスタッフは驚ろきます。そのため、主に企画を担当する学生たちも質の高い企画を立案する様になり、結果としてまちづくりの質の向上に繋がっています。

■ 延べ参加児童数：700 人以上　■ 延べ参加学生スタッフ数（中高生含む）：300 人以上
■ これまで参加した大学生スタッフ出身校：16 大学・6 大学院
・2007 年度～ 全国小学校の教職員に配布される「教室の窓・小学校図画工作」副読本に掲載
・2007 年度 第 4 回子ども環境学会・神奈川全国大会での招待スピーチ
・2009 年度 第 7 回日本都市計画家協会特別賞「まちづくり教育部門賞」受賞
・2009 年度 第 1 回ふじさわ景観まちづくり賞 まちづくり部門 受賞
・2012 年度～教育出版社刊：中学区社会 公民 掲載
・2013 年度 (公財) あしたの日本を創る協会あしたのまち・くらしづくり活動賞 振興奨励賞 受賞
・2014 年度 JIA ゴールデンキューブ賞 組織部門 特別賞 受賞
・2016 年度 都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」優秀賞 受賞
共催：湘南会議、湘南ボード、鵠沼の緑と景観を守る会、他
後援：藤沢市、藤沢市教育委員会

▶ 成果物

30 年後の未来のまち模型（1/500、1800mm×2400mm）

▶ 評価　― 19 年の証 ―

～長く続けてきた成果～ “人をつくり、まちをつくる”

(1) こどもたちが大学生、社会人スタッフとして支える側に
一度はまちを離れ、社会へと旅立ったこどもたちが中心的なスタッフとして、ふじさわに戻ってくるようになりました。
また、藤沢の行政で働く為に戻ってきた学生スタッフもいました。

(2) こどもたちがジュニアボランティアとして継続的に参加
小学校卒業後も継続して参加したい新中学生の声が増えたことから、ジュニアボランティア制度を創設しました。

(3) 他の地域にひろがるこどもまちづくり会議 “東日本大震災 被災地のこどもたちへ”
・大手新聞社湘南版や、地元ケーブルテレビ番組で放映されました。
・”C-X シークロス”辻堂駅北口関東特殊製鋼跡地 再開発事業でも開催されました。
・2014~2015年には二本松・浪江でこどもまちづくり会議に参加しました。
・2016年、兵庫県芦屋市にて開催予定です。

▶ 目的

こどもたちの感性のすばらしさと集中力のたくましさを、地域教育の中で育み、こどもたちが大人になった時に、自分のまちを自慢でき、愛着をもってもらうきっかけをつくることが目的です。
他の小学校や学年の違う子たちと一緒に、学生・社会人スタッフと協力しながら一つのまちをつくり上げる達成感と喜びを感じでもらうことで、まちづくりの基本である人との関わりを学んでもらうことも、この活動の特徴です。

▶ 実施概要

こどもたちは、『まち』のなりたちや自然環境・まちなみなどを、タウンウォッチング（探検）を通じて体験します。
地域の人の声や、昔の資料から歴史を学びます。
その体験をもとに、具体的にどのような未来のまちが理想であるか、こども同士が話し合い大きな都市計画模型（1/500）で表現します。

▶ 応募代表者

ふじさわこどもまちづくり会議 実行委員会代表
有限会社アトリエエーワン 代表取締役
三原 栄一

こども目線の教育とは、
伝える教育ではなく「伝わる教育」である。
そしてこどもの感性から、
我々大人が教えられる教育なのである。

Fujisawa Children City Conference
FC×3
since 1998
www.fujisawa-kodomo.org